

黒川通信

もうすぐ法面工事が終わり、いよいよトンネル工事に着手します。

お盆も過ぎ、短くて暑い夏ももうすぐ終わりを迎えようとしていますが、いかがお過ごしですか。夏祭りに水遊び、花火など・・・夏を思いっきり楽しみましたか？夏の疲れが出やすい頃ですので、風邪などひかぬよう体調には十分注意してお過ごし下さい。

なぜトンネルが必要？

今回の工事は砂防堰堤を作るためのトンネルを作る工事です。何故砂防堰堤の工事にトンネルが必要なの？と疑問に思う方もいらっしゃると思います。□

下記 2枚の写真を見比べてください。

左の写真は通常の川の状態です。がしかし、ひとたび雨が降ると右の写真のように様相が一変します。

通常の川の状態



大雨時の川の状態

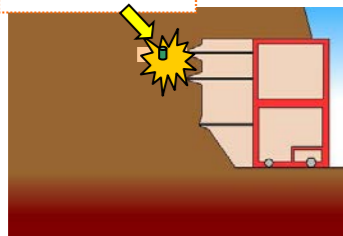


一気に

黒川は川幅も狭く急勾配のため一気に増水します。ですからトンネルを作って水を迂回させないと安全に砂防堰堤を作ることができないため、トンネルが必要となります。昨年12月号の完成予想図を見ていただければよくわかるかと思えます。

さて9月になりますと、いよいよトンネルの掘削を始めていきます。発破をかけるなど危険性の高い作業が2か月半ほど続きますが、安全第一で作業を進めていきます。

【発破】
火薬を爆発



トンネルが完成しましたら現場見学会を予定しています。詳細は10月号でお知らせしますので楽しみにしてください。

第4号 平成24年8月発行 次回は10月にお邪魔します
発行者 浅川建設工業株式会社

黒川第4砂防堰堤工事現場今の様子

法面をコンクリートで固める工事も終わりに近づき、トンネルの出入口が出来てきました。

トンネル 入口側

トンネル 出口側



(8月21日)

こんにちは。安全巡視員の浅川健です。

今回、安全巡視員として作業員の不安全行動の監視、危険個所の改善指導等で事故防止に当たる重要な任務を仰せつかった浅川健です。長く安全管理に携わってきましたが、砂防工事、特にトンネル工事は初めてであり危険性の高い作業ですので、毎日が緊張の連続です。現場では最高齢ですが、涼しい場所で夏を越せましたので体調はすこぶる良好です。これからも無事故を継続するために若い皆さんに負けずに頑張っていきます。



浅川建設工業株式会社

現場代理人 石黒 敦 ご要望・ご意見がございましたら
監理技術者 竹澤 広秋 090-3236-0507 まで
現場技術者 村澤 雅樹 本社 TEL 0265-79-2218
FAX 0265-79-9156